



お手に取って頂き心から
感謝いたします。

牛くぼひさし

市政報告 2022 新春号

一般会計補正予算（第8・9・10号）	第8号	25億4795万9千円増	（補正後予算額 1289億2903万1千円）
	第9号	25億2851万9千円増	
	第10号	68億7253万7千円増	

主な内容	第8号
------	-----

○子育て世帯への臨時特別給付（先行給付金）に係わる諸経費の計上

主な内容	第9号
------	-----

○川越市医師会夜間休日診療所への事業継続支援

○小・中学校の学級数増に伴う教室整備およびICT 環境整備

○債務負担行為の設定

- ・初雁公園広場整備に伴う駐車場等整備工事
- ・市道0033号線隧道工事に伴う道路整備工事
- ・初雁公園休憩所新築工事
- ・水害ハザードマップの印刷製本に要する経費など

※「債務負担行為」とは、次年度以降の支出について、あらかじめその内容を予算の一部として定めておくもの。

主な内容	第10号
------	------

○子育て世帯への臨時特別給付（追加給付金）に係わる諸経費の計上

○農業集落排水事業特別会計への繰越金の計上

○特定世帯等臨時特別給付金の給付に係る諸経費の計上

mottECO(モッテコ)の普及について 12月定例会 一般質問 ※一部抜粋

食品ロス量について

農林水産省のホームページによりますと、日本での食品ロス量は、平成30年度推計値で、年間約600万トン、国民一人当たりで換算すると、年間約47キログラムと公表されております。

これは、国民一人当たり、約130グラム、茶碗約一杯分のご飯の量に相当します。

飲食店における食べ残しの持ち帰りに関する市の考え方について

飲食店で食べ残した料理の持ち帰りは、食品ロスの削減に寄与するものと考えております。

一方、食べ残した料理を持ち帰ることにより衛生面や、持ち帰り容器がごみになってしまう事が懸念される場所がございますので、現段階では、本市といたしましては、食べきれぬ量の注文等による、「食べきり」の呼びかけを優先していきたいと考えております。

環境省の「mottECO（モッテコ）導入モデル事業」を活用について、市の考え。

環境省で、「mottECO（モッテコ）」とは、環境省が提唱する、飲食店で食べきれなかった料理を、お客様の自己責任で持ち帰る行為の愛称のことです。本市といたしましては、飲食店における食べ残しの持ち帰りは、お客様の自己責任でお持ち帰りいただくなど衛生面等に注意すべき点があり、実施には慎重な検討が必要と考えますが、食品ロス削減の観点からは有用であると認識しております。

食品ロス削減の取り組みについて、もっと市民の理解を深める必要あると思うが市としての取組みについて。

食品ロス削減のためには、食べ物を無駄にしない、「もったいない」という意識の定着を図っていくことが重要となりますが、食品ロスの状況や削減の必要性について、市ホームページやスマートフォン向け分別アプリなどにより、引き続き周知・啓発を行っていくとともに、学校や自治会等への出前講座、事業者への説明会などにおいても取り上げて、食品ロス削減に対する理解や行動につながるよう意識の向上を図ってまいります。

また、未利用食品などを活用するため、フードバンクや事業者と連携を図りながら、引き続きフードドライブを実施し、食品ロスの削減に努めてまいります。

牛くぼひさし 12月定例会一般質問 mottECO (モッテコ) 等について



牛くぼひさしプロフィール ～『子育て+介護』世代、誰もが住んでよかったと思える地域づくり～

- 昭和51年9月14日生まれ 柔道五段
 - 私立八千代松陰高等学校卒業 井上康生と柔道関東大会決勝戦にて僅差判定で敗れる
 - 明治大学商学部商学科卒業 全日本学生柔道優勝大会 明治大学団体戦優勝
 - 京葉ガス株式会社入社 実業団柔道で活躍
 - 京葉ガス株式会社退社 結婚し埼玉県川越市民となり全盲の両親と同居
 - 全盲の市議会議員牛窪多喜男の秘書を務めながら柔道整復師国家資格取得
 - 2019年川越市議会議員に初当選
 - 保健福祉常任員委員会 (副委員長)
- ※子供一男一女に恵まれながら現在6人家族+ (盲導犬: ジョージ)

事務所
〒350-0027
住所 川越市南田島242-1
電話 049-243-9425
ホームページ ushikubo-hisashi.com

牛くぼ ひさし 検索